

各構想区域の地域医療構想 調整会議の協議状況 及び今後の協議について

令和元年(2019年)7月 熊本県健康福祉部

1 地域医療構想調整会議の開催状況

各構想区域における地域医療構想調整会議(以下「地域調整会議」)を次のとおり開催又は開催予定。

構想区域名	第4回	第5回	第6回	第7回(予定)
熊本・上益城	平成30年7月30日	平成30年11月12日	平成31年3月5日	令和元年8月9日
宇城	〃 8月1日	〃 11月20日	〃 3月1日	〃 8月20日
有明	〃 7月31日	〃 12月10日	〃 3月13日	〃 8月19日
鹿本	〃 8月7日	〃 12月4日	〃 3月7日	調整中
菊池	〃 8月8日	〃 11月28日	〃 3月20日	〃 8月21日
阿蘇	〃 8月6日	〃 12月6日	〃 3月7日	調整中
八代	〃 7月27日	〃 11月29日	〃 3月19日	〃 8月28日
芦北	〃 8月3日	〃 11月27日	〃 3月13日	調整中
球磨	〃 7月25日	〃 12月5日	〃 3月19日	〃 8月2日
天草	〃 8月10日	〃 12月3日	〃 3月6日	〃 8月6日

2 「政策医療を担う中心的な医療機関」の 役割明確化に関する協議(平成30年度に協議を実施した医療機関)

構想区域名	医療機関名
熊本・上益城	熊本地域医療センター、熊本中央病院、熊本市市民病院、植木病院、山都町包括医療センターそよう病院、熊本機能病院、くまもと森都総合病院、日赤・熊本健康管理センター、杉村病院、大腸肛門病センター高野病院、慈恵病院及び矢部広域病院
宇城	熊本南病院(NHO)、済生会みすみ病院、宇城総合病院及び宇城市民病院
有明	公立玉名中央病院、荒尾市民病院、玉名地域保健医療センター及び和水町立病院
鹿本	山鹿市民医療センター、保利病院、山鹿中央病院、三森循環器科・呼吸器科病院、山鹿温泉リハビリテーション病院及び山鹿回生病院
菊池	菊池中央病院、川口病院、熊本セントラル病院、熊本リハビリテーション病院、菊陽台病院、菊池郡市医師会立病院及び岸病院
阿蘇	阿蘇医療センター、小国公立病院、大阿蘇病院、阿蘇温泉病院及び阿蘇立野病院
八代	八代北部地域医療センター、熊本総合病院(JCHO)及び熊本労災病院
芦北	水俣市立総合医療センター及び岡部病院
球磨	人吉医療センター(JCHO)、球磨郡公立多良木病院、外山胃腸病院及び球磨病院
天草	天草中央総合病院(JCHO)、天草地域医療センター、上天草市立上天草総合病院、天草慈恵病院、天草第一病院、苓北医師会病院及び天草市立病院(4病院)

3 「その他の病院及び有床診療所」の協議

前回(H31.2)の報告時点からの進捗状況

構想区域名	協議状況(R1.5.31調査時点)
熊本・上益城	「審査部会」で非稼働病棟を有する医療機関や病床機能報告結果の精査中
宇城	非稼働病棟を有する医療機関 再稼働の際に改めて協議予定
有明	非稼働病棟を有する医療機関を含め地域調整会議に報告 今後、政策医療を担う中心的な医療機関と併せて合意を確認する予定
鹿本	非稼働病棟を有する医療機関 合意(将来的に再稼働予定)
菊池	非稼働病棟を有する医療機関を含め、次回以降の地域調整会議で協議予定
阿蘇	「検討部会」で協議し、地域調整会議で協議予定
八代	地域調整会議で協議(非稼働病棟を有する一部医療機関を含む) 合意(非稼働病棟を有する医療機関については将来的に再稼働予定又は可能性 がある)
芦北	地域調整会議で協議中(今年度末までに終了予定)
球磨	「運営部会」で協議中 地域調整会議で協議予定(今年度末までに終了予定、 政策医療を担う中心的な医療機関と併せて合意を確認する予定)
天草	地域調整会議で協議(非稼働病棟を有する医療機関を含め一括協議) 合意(非稼働病棟を有する医療機関については将来的に再稼働予定)

4 地域調整会議で協議等が行われた主な事項

病床機能の転換に関する協議(過剰な病床機能への転換)

【菊池】「政策医療を担う中心的な医療機関」の協議の際に、急性期へ転換(38床 40床)する旨の報告があった。

転換理由は緊急入院等の増加に対応するためであり、協議結果は合意。

【球磨】回復期へ転換(慢性期54床 回復期54床)する旨の病床機能報告があった。

転換理由は実態に即した報告に修正するというものであった。

開設者の変更に関する協議

【宇城】民間病院が業績不振のため、他の医療法人に事業譲渡する。病床機能には一部変更が生じる。

(慢性期257床 回復期45床、慢性期212床)

病床機能の変更はリハビリ強化・在宅への復帰機能の強化であることなどから、協議結果は合意。

5 地域調整会議での協議結果(2年間のまとめ)

政策医療を担う中心的な医療機関

一部の区域を除き、合意を確認しており、公立病院・公的医療機関等では対象34医療機関のうち28医療機関(82.4%)で合意を確認。

合意に達していない区域は、地域調整会議での確認により、区域内全ての医療機関の役割をまとめて協議することとなったため。

その他の病院及び有床診療所

地元医師会での部会等で、地域の実情に応じた協議方法で協議を進めており、県内の医療機関の約90%が協議中又は協議済み。

開設者変更、非稼働病棟の再稼働等の個別事項

地元医師会での部会等で、地域の実情に応じた協議方法で協議を進めている。

部会の設置状況：熊本・上益城、有明、阿蘇、八代、球磨、天草

地域医療構想の実現に向けたさらなる取組について

- **2019年年央までに**各医療機関の診療実績データを分析し、公立・公的医療機関等の役割が当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか、合意された具体的対応方針を検証し、地域医療構想の実現に必要な協議を促進。

2. 今後の取り組み

- 合意形成された具体的対応方針の検証と構想の実現に向けた更なる対策

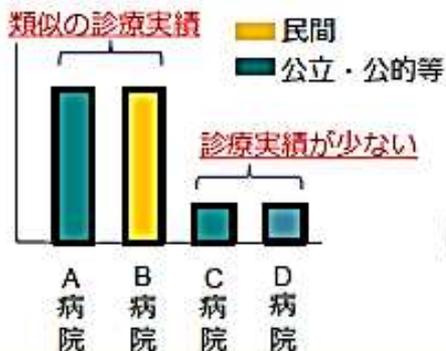
- 今後、2019年年央までに、全ての医療機関の診療実績データ分析を完了し、「**代替可能性がある**」または「**診療実績が少ない**」と位置付けられた**公立・公的医療機関等**に対して、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえつつ、**医師の働き方改革の方向性**も加味して、**当該医療機能の他の医療機関への統合**や**他の病院との再編統合**について、地域医療構想調整会議で協議し改めて合意を得るように要請する予定。

分析内容

- ① 分析項目ごとに診療実績等の一定の指標を設定し、当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか分析する。
重点化が不十分な場合、他の医療機関による代替可能性があるとする。
A 各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している。
B 各分析項目について、診療実績が特に少ない。
- ② 医療機関の所在地や、他の医療機関との位置関係を確認するなど、地理的条件も勘案する。

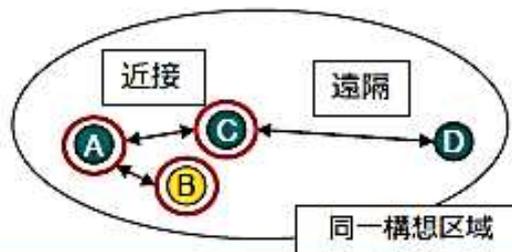
分析のイメージ

- ① 診療実績の**データ分析**
(領域等(例:がん、救急等)ごと)



- ② 地理的条件的**確認**

類似の診療実績がある場合又は診療実績が少ない場合のうち、**近接**している場合を確認



①及び②により「**代替可能性あり**」とされた公立・公的医療機関等

- ③ 分析結果を踏まえた地域医療構想調整会議における**検証**

医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえ、**医師の働き方改革の方向性**も加味して、

- **代替可能性のある機能の他の医療機関への統合**
- **病院の再編統合**

について具体的な協議・再度の合意を要請

